

科目区分	専門分野	科目名	看護学概論	対象学生	第1学年		
		単位数(時間数)	1単位(30時間)	学期	第1学期		
担当講師	山田 円 (臨床経験 12 年、教育経験 23 年)						
科目目標	<p>看護の役割と機能を学び、看護の専門性と看護の本質を学ぶ。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 看護の歴史、看護の概念、看護の目的、対象、機能と役割を探求し理解する。</li> <li>2. 看護の視点から健康の概念、健康の指標を理解する。</li> <li>3. 看護に関する法律と養成制度を理解し、専門職のあり方を考える。</li> <li>4. 看護倫理の基本的な考え方を学び、尊厳を護る看護のあり方と倫理課題を考える。</li> </ol>						
授業計画	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>第1回 看護への接近(講義・ワーク)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 看護を学ぶということ</li> <li>2. 看護とは何か 看護師は何をする人か</li> </ol> <p>第2回 看護の本質(講義)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 看護の歴史</li> <li>2. 看護の定義</li> </ol> <p>第3回 ナイチンゲールの看護の考え方 (講義)</p> <p>第4回 ヘンダーソンの看護の考え方 (講義)</p> <p>第5回 看護の役割と機能</p> <p>第6～7回 看護の対象(講義)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 人間のこころとからだ</li> <li>2. 健康障害をもつ対象の理解</li> <li>3. 生活者としての人間と暮らしの理解</li> </ol> <p>第8回 国民の健康状態と生活(講義)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 健康の捉え方、健康の指標</li> <li>2. 国民の健康状態</li> </ol> </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>第9～10回 看護の提供者(講義)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 看護職の資格・養成制度・就業状況</li> <li>2. 看護職者の継続教育とキャリア開発</li> </ol> <p>第11回 看護における倫理(講義)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 職業倫理としての看護倫理</li> <li>2. 倫理原則</li> <li>3. 医療をめぐる倫理</li> </ol> <p>第12回 倫理的問題への対応(講義・GW)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 倫理的ジレンマ</li> <li>2. 倫理的意思決定</li> </ol> <p>第13回 倫理的問題への対応(GW) 事例検討</p> <p>第14回 倫理的問題への対応(GW) 事例検討</p> <p>第15回 終了試験</p> </td> </tr> </table>					<p>第1回 看護への接近(講義・ワーク)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 看護を学ぶということ</li> <li>2. 看護とは何か 看護師は何をする人か</li> </ol> <p>第2回 看護の本質(講義)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 看護の歴史</li> <li>2. 看護の定義</li> </ol> <p>第3回 ナイチンゲールの看護の考え方 (講義)</p> <p>第4回 ヘンダーソンの看護の考え方 (講義)</p> <p>第5回 看護の役割と機能</p> <p>第6～7回 看護の対象(講義)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 人間のこころとからだ</li> <li>2. 健康障害をもつ対象の理解</li> <li>3. 生活者としての人間と暮らしの理解</li> </ol> <p>第8回 国民の健康状態と生活(講義)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 健康の捉え方、健康の指標</li> <li>2. 国民の健康状態</li> </ol>	<p>第9～10回 看護の提供者(講義)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 看護職の資格・養成制度・就業状況</li> <li>2. 看護職者の継続教育とキャリア開発</li> </ol> <p>第11回 看護における倫理(講義)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 職業倫理としての看護倫理</li> <li>2. 倫理原則</li> <li>3. 医療をめぐる倫理</li> </ol> <p>第12回 倫理的問題への対応(講義・GW)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 倫理的ジレンマ</li> <li>2. 倫理的意思決定</li> </ol> <p>第13回 倫理的問題への対応(GW) 事例検討</p> <p>第14回 倫理的問題への対応(GW) 事例検討</p> <p>第15回 終了試験</p>
<p>第1回 看護への接近(講義・ワーク)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 看護を学ぶということ</li> <li>2. 看護とは何か 看護師は何をする人か</li> </ol> <p>第2回 看護の本質(講義)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 看護の歴史</li> <li>2. 看護の定義</li> </ol> <p>第3回 ナイチンゲールの看護の考え方 (講義)</p> <p>第4回 ヘンダーソンの看護の考え方 (講義)</p> <p>第5回 看護の役割と機能</p> <p>第6～7回 看護の対象(講義)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 人間のこころとからだ</li> <li>2. 健康障害をもつ対象の理解</li> <li>3. 生活者としての人間と暮らしの理解</li> </ol> <p>第8回 国民の健康状態と生活(講義)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 健康の捉え方、健康の指標</li> <li>2. 国民の健康状態</li> </ol>	<p>第9～10回 看護の提供者(講義)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 看護職の資格・養成制度・就業状況</li> <li>2. 看護職者の継続教育とキャリア開発</li> </ol> <p>第11回 看護における倫理(講義)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 職業倫理としての看護倫理</li> <li>2. 倫理原則</li> <li>3. 医療をめぐる倫理</li> </ol> <p>第12回 倫理的問題への対応(講義・GW)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 倫理的ジレンマ</li> <li>2. 倫理的意思決定</li> </ol> <p>第13回 倫理的問題への対応(GW) 事例検討</p> <p>第14回 倫理的問題への対応(GW) 事例検討</p> <p>第15回 終了試験</p>						
評価方法	筆記試験						
テキスト	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 系統看護学講座 専門分野 I 基礎看護学① 看護学概論 医学書院</li> <li>2. 看護覚え書 現代社</li> <li>3. 看護の基本となるもの 日本看護協会出版会</li> <li>4. 看護者の基本的責務 日本看護協会出版会 2023</li> </ol>						
講師からのメッセージ	<p>決して受け身にならず、常に自分自身の学ぶ姿勢を確認しながら、知ることやわかることの楽しさを感じて学んでいってほしい。「看護覚え書き」「看護の基本となるもの」は看護師になる者にとっての道標となる貴重なテキストであるため、各自で読破しておく。色んな本を読み、様々な視点から看護に対する考えが深められることを期待する。国家試験出題基準を確認し学習すること</p>						